

奈良県東吉野村を表敬訪問

総務常任委員会と産業建設常任委員会は去る9月24日から26日まで合同の視察研修を実施した。

昭和56年に友好の盟約を結んで以来交流が続いている。この夏、東吉野小学校5・6年生17名が本町を訪れ中央小学校5・6年生30名と交流体験学習を行った。その他にも毎年、東津野中学校は修学旅行で東吉野村を訪問し、天誅組の戦いの跡を廻り



橋本議長より歓迎のあいさつ

虎太郎先生の墓参りをするなど次代をつなぐ子ども達の交流が続いている。

○東吉野村

静かな時の流れに包まれた東吉野村は明治維新の先駆けとして名を高めた天誅組が最期を遂げた



吉村虎太郎墓前にて(明治谷)

地である。

残念岩の所で力尽きた天誅組総裁吉村虎太郎は、村人の手によってこの岩の元に埋葬され、土方直行の筆による「原えいの碑」が建てられた。

明治29年に改葬された明治谷では吉村虎太郎、那須信吾らが眠る墓前に故郷の芳生野米と水を供え静かに手をあわせた。

今なお村の人々の温かい手により守られていることに心から感謝すると共に、この地で散っていった先人たちの志を後世に伝えるためにも更なる交流を深めることを再確認した。

虎太郎生家復元のために東吉野村より床柱が寄贈されており、完成を心待ちにしているようである。落成式には議会をあげて来町する旨申し出があげられている。

○五條市

五條市は、奈良県の南西部にあり、世界遺産の

高野山・吉野・熊野の三箇所を結ぶ位置にある古代からの交通の要衝である。

文久3年には、五條代官所を舞台に、明治維新の魁



「原えいの碑」



五條市内

となる天誅組の変が起り、代官による支配の終焉を迎えることとなる。天誅組が本陣として五條新政府を号した櫻井寺には、さらし首となつた代官鈴木源内の首をあらつたとされる手水鉢も残されている。

昨年9月15日には、ここ五條市において虎太郎没後150年を記念し高野農村歌舞伎「虎太郎魁大和錦」の公演が行われた。

○京都市市民防災センター

地震・台風・火災等、かけがえない暮らしをおびやかす災害の恐ろしさを忘れないために。そして万一のときに被害を最小限に抑えるために。火災現場、煙の中避難誘導灯による避難体験。震度4〜7程度の横揺れの地震体験。風速35メートルの強風体験等のバーチャル体験を通し、改めて災害に必要な知識と行動力を身につける必要性を感じた。